

「砂防フェア2011」を開催



国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、毎年6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害・全国統一で防災訓練をはじめ、さまざまな行事・広報を展開し、土砂災害防止に関する啓発活動を実施しています。



地震体験装置での地震体験

富山県は急峻な山岳地帯や急流河川を有するため、土石流や地すべり、がけ崩れなどの恐れがある危険な箇所が数多くあります。このような危険を少しでも多くの方々に理解していただき、土砂災害の防止に繋げるため、立山砂防事務所では、土砂災害防止月間期間中の6月11日（土）に普及啓発活動として、富山市総曲輪フェリオ「グランドプラザ」に

おいて、国土交通省 黒部河川事務所・神通川水系砂防事務所及び富山県と共同で、「砂防フェア2011」を開催しました。

会場では、土砂災害に関するパネルの展示やDVDの放映、土砂災害の仕組み再現した模型による説明などを実施しており、今回のフェアにおいては東日本大震災に関するパネル展示も実施され、地震による土砂災害、津波による土砂災害についても展示しました。

土砂災害や雪崩の仕組みを身近な物で再現させたDr.ナダレンジャーによるサイエンスショーが始まると、子供たちは目を輝かせて、ショーに参加していました。



「サイエンスショー」の実験

今後も立山砂防事務所では、土砂災害などの自然災害による被害軽減のため、雨に関する情報（雨量、雨域）や警戒情報の活用など早めの避難が行えるように災害に対する日頃の備えを呼びかけていきます。